

『愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7 巻』（改訂第 2 版第 1・2 刷）
訂正とお詫び

掲載記事中、以下の記述に誤りがございました。ここに訂正させていただくとともに読者の皆様および関係者の方々に深くお詫び申し上げます。

株式会社 EDUWARD Press
2026 年 5 月 11 日作成

頁	記事タイトル	該当箇所	誤	正
10	【動物内科看護学】第 1 章 8. 身体検査・アセスメント（評価）項目	右段上から 8 ～ 16 行目	<p>● 正常な安静時脈拍数は、大型犬で 60～70/分、小型犬で 160～180/分、幼齢犬と猫で 160～220/分であり、測定時の心拍数と一致することを確認する。</p> <p>心拍数・呼吸数・体温の計測</p> <p>● 次いで、心拍数、呼吸数、体温測定を行う。</p> <p>● 心拍数：成犬（大型犬を除く）で 80～120 回/分、成犬（大型犬）で 65～80 回/分、成猫で 110～130 回/分。</p>	<p>● 正常な安静時脈拍数は、大型犬で 60～80 回/分、中型犬 70～120 回/分、小型犬で 80～120 回/分、幼齢犬 110～120 回/分、猫で 110～130 回/分であり、測定時の心拍数と一致することを確認する。</p> <p>心拍数・呼吸数・体温の計測</p> <p>● 次いで、心拍数、呼吸数、体温測定を行う。</p> <p>● 心拍数：成犬（大型犬を除く）で 70～120 回/分、成犬（大型犬）で 60～80 回/分、成猫で 110～130 回/分。</p>
75	【動物内科看護学】第 4 章 5 「排泄行動のアセスメントと排泄物の観察」	右段下から 6 行目	<p>・便の水分量は、<u>小腸および大腸にて水分が吸収されるため、最終的に約 2～3%となる。</u>便の観察項目としては、<u>硬さ、色、量、臭気、回数、異物の有無などがある</u>（表 1-4-1）。</p>	<p>・便の観察項目としては、硬さ、色、量、臭気、回数、異物の有無などがある（表 1-4-1）。便の固さや量は水分含量の変動によって変わり、これらは軟便や下痢、便秘と関連する。</p>

88	【動物内科看護学】第4章11「休息・睡眠状態のアセスメントと援助方法」	こ こ が POINT 行上から5行目	犬における休息状態は、座位、 <u>横臥</u> の姿勢をとることにある。	犬における休息状態は、座位、 <u>臥位</u> の姿勢をとることにある。
88	同上	右段下から6行目からp89 左段1行目	● 犬は、飼い主が見える場所で休息行動をとることを好み、飼い主不在時には好みの場所で休息する。猫は、高い場所、暖かい場所を休息場所として好む。動物が休息行動をとる際の姿勢には、座位や <u>横臥位</u> がある。 <u>横臥位</u> には複数の姿勢があり、後肢を投げ出した伏臥姿勢は休息時に最も多くみられる。腹這いで両前肢を前に、両後肢を後ろに伸ばす姿勢は子犬によくみられ、リラックス状態であることを示す。体の片面を床につける <u>側臥</u> 姿勢は睡眠時に最も利用される。 <u>仰向けの</u> 姿勢は子犬に多いが、暖かく安心できる場所では成犬にもみられる。	● 犬は、飼い主が見える場所で休息行動をとることを好み、飼い主不在時には好みの場所で休息する。猫は、高い場所、暖かい場所を休息場所として好む。動物が休息行動をとる際の姿勢には、座位や <u>臥位</u> （ <u>横たわった状態</u> ）がある。 <u>臥位</u> には複数の姿勢があり、後肢を投げ出した伏臥姿勢は休息時に最も多くみられる。腹這いで両前肢を前に、両後肢を後ろに伸ばす姿勢は子犬によくみられ、リラックス状態であることを示す。体の片面を床につける <u>側</u> （ <u>横</u> ） <u>臥</u> 姿勢は睡眠時に最も利用される。 <u>仰臥</u> （ <u>仰向けの</u> ）姿勢は子犬に多いが、暖かく安心できる場所では成犬にもみられる。
89	同上	左段上から6～12行目	“犬における休息状態は、座位、 <u>横臥</u> の姿勢をとることにある。座位	“犬における休息状態は、座位、 <u>臥位</u> の姿勢をとることにある。座位

			は、臀部を床につけ、前肢を伸展し、後肢を屈曲する姿勢である。 <u>横臥</u> には以下に示す姿勢がある。すぐに立ち上がるなどの行動ができる <u>横臥</u> 姿勢では、胸骨部を床につけ、後肢を腹側に屈曲させた伏せの姿勢である。”	は、臀部を床につけ、前肢を伸展し、後肢を屈曲する姿勢である。 <u>臥位</u> には以下に示す姿勢がある。すぐに立ち上がるなどの行動ができる <u>姿勢</u> は、胸骨部を床につけ、後肢を腹側に屈曲させた伏せの姿勢である。”
89	同上	猫における休息状態 右段上から7行目	<u>横臥姿勢</u> は、休息や睡眠に深く関わる重要な姿勢で、	<u>臥位</u> は、休息や睡眠に深く関わる重要な姿勢で、
213	【動物内科看護学】第10章 章末「演習問題解答」	問3	・QT間隔：心房の脱分極・再分極にかかる時間	・QT間隔：心室の脱分極・再分極にかかる時間
219	【動物内科看護学】第11章3撮影条件とX線フィルム	図 1-11-4 グリッド（ブレンデ）	a：カセットなし b：カセットあり	a：グリッドなし b：グリッドあり
220	【動物内科看護学】第11章4「撮影体位と方法」	左段上から15行目	X線を当てる背はい掌しよう（／ <u>蹠しよ</u> ）側（dorsopalmar/	X線を当てる背はい掌しよう（／ <u>蹠せき</u> ）側（dorsopalmar/
221	同上	図 1-11-5 身体の方角を表す用語 下段表内	<u>蹠しよ</u> 側（plantar, Pl）	<u>蹠せき</u> 側（plantar, Pl）

244	【動物内科 看護学】第 12章演習 問題解答	問2	正解③	正解⑤
-----	---------------------------------	----	-----	-----